

平成 27 年度 中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会（新潟）の開催

「命輝き心トキめく～共生の羽根で未来の空へ～」という大会テーマのもと、平成 27 年度中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会が、8 月 29 日（土）・30 日（日）に新潟市中央区の ANA クラウンプラザホテル新潟で開催され、県内外の獣医師と一般の方を合わせて、2 日間で延べ 1,230 名の方が参加されました。

29 日（土）に開催された獣医師大会では、主催者として大会会長を務めた当会の楠原会長理事及び日本獣医師会の藏内会長から挨拶の後、表彰式典で中部獣医師会連合会褒賞 69 名、日本獣医三学会（中部地区）優秀研究発表者表彰 6 名の方が表彰されました。続いて、泉田新潟県知事、篠田新潟市長をはじめとしてご臨席を賜ったご来賓の方々からご祝辞をいただき、大会宣言の後、式典の閉会となりました。



挨拶される楠原征治連合会会長



大会の様子

式典閉会の後、特別講演として、落語家で（公財）日本動物愛護協会理事の林家たい平師匠から、「笑顔のもとに笑顔が集まる」という演題でご講演をいただきました。

ご講演では、ご自身が心に響いた豊富な経験談を笑いの中でご披露いただき、人を磨くこと、相手を思うことの大切さや、日々の暮らしや仕事の先には誰かの笑顔があること、そして、その笑顔を想像しながら生きることが豊かな人生につながっていくというお話を聞かせていただきました。



講演される 林家たい平師匠

講演の終盤、師匠は、人と動物の関係に触れ、人生と一緒に歩んでくれる動物たち（人生のパートナーとなるペット）がいることは幸せであり、動物から教えられることはたくさんあるが、人間より寿命の短い動物たちは、その生と死をもって人間に命の大切さを教えてくれる。人はこれにより、動物を愛する心、人を愛する心、そして、自分の命を大切にすることを養うことができるとお話しされ、獣医師の皆さんに飼い主と動物との間に立っていただくことにより、

人と動物との関係が円滑で健康に過ごさせてもらえるような暮らしができるよう願っている。言葉が発せられない、コミュニケーションがとれない、動物のために、ペットの気持ちを思っ
てあげられるやさしい人間でいたいと結ばれました。

また、この日は、関連行事として、映画「夢は牛のお
医者さん」の上映と、時田監督と主人公の丸山獣医師と
のトークショーが開催され、一般の方も含めて 150 名
の方が入場されました。

映画の中に出てくる小学生時代の主人公と愛牛との
涙涙の別れや、獣医師として厳しい判断を迫られる心の
葛藤のシーンでは、お客様ご自身が映画の中に入り込み、
その時々
の主人公の心情を受け止めて、目に涙を浮かべ、
目頭をおさえる方が大勢いらっしゃいました。



映画 時田監督と丸山獣医師によるトークショー

トークショーも講評で、ドキュメンタリー映画ということもあり、制作にかかわる様々なエ
ピソードなどのお話を聞くことができました。当日申込みも含め、視聴を希望する方が大勢い
らっしゃり、入場をお断りせざるをえない状況の中、盛況のうちに閉幕となりました。

日差しも傾く頃、大会プログラムが修了し、引き続き同ホテルで交流会が開催されました。
会場から溢れんばかりの大勢の方にご出席いただき、様々なお話を
する中で、県内外の獣医師の皆様と交流をはかることができました。



交流会は、新潟県獣医師会の楠原会長、モンゴル獣医師
会のウルゼイトグトフ会長からご挨拶をいただき、日本獣
医師会の北村顧問の乾杯のご発声ではじまりました。

交流会の冒頭、日本三大芸妓に数えられ、新潟で 200 年
の伝統を誇る「古町芸妓の舞」が披露され、会場を盛り上
げる中、新潟の地酒、日本海の幸、握り寿司、にいがた和
牛のステーキなどが振る舞われました。

乾杯挨拶 日本獣医師会北村顧問 特別講演をいただきました林家たい平師匠も飛び入り参
加していただき交流会をより一層盛り上げていただきました。

県外からお越しの皆様にも「新潟流のおもてなし」をご堪能いただけたものと思います。

翌 30 日(日)には、獣医学術中部地区学会と一般公開講座の動物看護職セミナー・新潟県獣
医師会の取り組み等が開催されました。

学会では、産業動物獣医学会に 23 題、小動物獣医学会に 34 題、獣医公衆衛生学会に 18 題
の演題が登録され、各先生方からご口演をいただきました。

獣医公衆衛生学会では、「新潟市水族館「マリニピア日本海」における獣医師の活動」と題
して同水族館の岩尾獣医師から特別講演もいただきました。

岩尾先生からのご講演では、イルカやカワウソなどのほ乳類から魚類に至るまでの動物種に

おける健康管理と獣医医療についてお話があり、特にクロストリジウム症が課題となっている旨のご報告がありました。

各学会会場では、新しい知見の報告と活発な意見交換がなされ、参加者にとっても得るものが多い有益な学会となりました。



産業動物獣医学会の様子



小動物獣医学会の様子



獣医公衆衛生学会 特別講演

動物看護職セミナーでは、名古屋市の森島先生から「明日の自分を考える」という演題でお話をいただきました。また、当会からは、新潟県獣医師会の取り組みから「獣医師会活動と動物看護師の役割」と題して宮川先生から、「新潟県獣医師会小動物臨床部会におけるアンケート調査から見えてくるもの」と題して小嶋先生からご講演をいただきました。



看護職セミナー受講風景

参加者は、3分の2が、これから動物医療の道を目指す専門学校生さんたち、残り3分の1が、現役動物看護師さんたちという状況で、参加された方々は、熱心に講演に聴き入っておられました。

2日間にわたる新潟の地を舞台とした中部地区大会・学会は、この三学会をもって、大盛況のうちに幕を閉じました。